

C 協働学習 (C2)

主な学習活動

選んだ技についての自己の課題を解決するために、見つけたコツや分かったことを友達と伝え合う。

1 本時のねらい

自分が選んだ技についての課題を解決するために、見つけたコツや分かったことを友達と伝え合うことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

授業支援

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

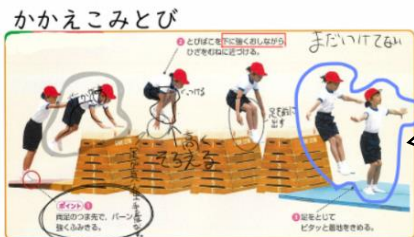
単元のそれぞれの授業で、子ども自身が見つけたコツや分かったことをMetaMoJi Classroomのワークシートに記録し、積み重ねること（学習ログ）で、自分の変容への気付きへとつなげることができる。

| 段階場面 | 主な学習活動 | ICT機器活用のポイント |
|------|---|---|
| 導入展開 | 自分が選んだ技についての課題を解決するために、見つけたコツや分かったことを友達と伝え合う。 | 前時の振り返りや本時で行う活動を提示することにより、本時の見通しをもち、学習意欲を高めることができる。 MetaMoJi Classroomのワークシートに、見つけたコツや分かったことを書き込んだり、撮影した動画を貼り付けたりしながら友達に伝えやすくする。 |

タブレット

+

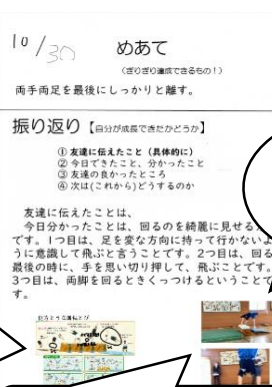
電子黒板



自分で見つけたコツを書きたい。

写真に見つけたコツの書き込みをしている。

自分で見つけたコツを貼り付けている。



撮影した動画を貼り付けている。

今日の学習を振り返ると、こんなことが分かった。

4 活用効果

MetaMoJi Classroomのワークシートに蓄積している前時の振り返り（学習ログ）を確認することにより、本時のめあてを設定しやすくなった。なお、伝え合う活動の際に、ICTを活用することによって、どのように動きを改善すればよいかを積極的に交流することができた。振り返りの場面では、自分の見つけたコツや撮影した動画をMetaMoJi Classroomのワークシートに貼り付け、蓄積していくことで、自分の変容に気付くことにつながられた。また、自分たちで見つけたコツや分かったことは、次の学年の子どもたちへプレゼントするという目的をもたせたことで、意欲的に活動に取り組むことができた。

5 アドバイザーからのコメント

跳び箱を跳び越す方法は子どもたちによって異なりますが、それを「コツ」という言葉で、子どもたちが跳び越す光景のイラストに貼り付けて保管することは、素晴らしいです。「コツ」とは学習方略で、子どもたち自身が主体的に気付いた知識、つまり生み出した学び方なのです。（東京工業大学 赤堀侃司）

学習者自身が学びの方向性を決める際に蓄積した成果物や振り返りを確認することで、メタ的視点から学習の見通しをもつことが期待できます。また、暗黙知となりがちな体を動かすコツを、ICT活用で表現しやすくして共有できる知識にしていることも大事な視点と言えそうです。（福島大学 平中宏典）